

データサイエンス学科課程表

2023年度入学生適用

※開講学年前期後期欄

●－原則としてその学期で開講。
○○－原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			◎印－必修科目 ○印－選択必修科目 △印－分野必修科目	
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位		
教 養 教 育 科 目	人 間 的 基 礎	聖書を学ぶ	●		2										◎	
		キリスト教の歴史と思想		●	2										◎	
		キリスト教学A（キリスト教と倫理）									2				} ◎	2単位選択必修。4単位まで卒業単位に算入することができる。
		キリスト教学B（キリスト教と宗教）									2					
		キリスト教学C（キリスト教と文化）									2					
		キリスト教学D（キリスト教と現代社会）									2					
		共生社会と倫理				○	○	2							} ◎	2単位選択必修
		科学技術社会と倫理				○	○	2								
		よき社会生活のためにA（法律）	○	○	2										} ◎	2単位選択必修
		よき社会生活のためにB（福祉）	○	○	2											
		よき社会生活のためにC（健康）	○	○	2											
	知 的 基 礎	リーディング&ライティング	○	○	2										} ◎	2単位選択必修
		クリティカル・シンキング	○	○	2											
		情報リテラシー	○	○	2										◎	
		統計的思考の基礎	○	○	2										} ◎	2単位選択必修
		科学的思考の基礎	○	○	2											
	課 題 探 究	キャリア形成の探究	○	○	2										} ◎	6単位選択必修
		東北学院史の探究							○	○	2					
		データ活用による探究				○	○	2								
		地域ボランティア活動の探究	○	○	2											
		地域課題の探究				○	○	2								
		課題探究演習		●	2											
	人 文 系	哲学	○	○	2										} ◎	4単位選択必修
		芸術論	○	○	2											
		文化の歴史	○	○	2											
		音楽	○	○	2											
		倫理学	○	○	2											
		文学	○	○	2											
		歴史学	○	○	2											
		文化人類学	○	○	2											
		言語論	○	○	2											
	共 通 教 養 科 目	心理学	○	○	2										} ◎	4単位選択必修
		社会学	○	○	2											
		経営学	○	○	2											
		経済学	○	○	2											
		法学	○	○	2											
		日本国憲法	○	○	2											
		現代の政治	○	○	2											
		地理学	○	○	2											
		社会福祉論	○	○	2											
		ジェンダー論	○	○	2											
		東北地域論	○	○	2											
	自 然 系	数理の科学	○	○	2										} ◎	4単位選択必修
		記号論理学	○	○	2											
		生命の科学	○	○	2											
		環境の科学	○	○	2											
		自然の科学	○	○	2											
		先端科学と技術	○	○	2											
		AI社会の基礎	○	○	2											

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
				1 年			2 年			3 年			4 年				
				前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	◎印－必修科目 ○印－選択必修科目 △印－分野必修科目	
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●		1										◎	
		英語ⅠB	半期		●	1										◎	
		英語ⅡA	半期				●		1							◎	
		英語ⅡB	半期					●	1							◎	
	第2類	ドイツ語ⅠA	半期	●		2										週2回開講 ※Bの選択にあたってはAと 同一外国語を履修すること。	
		フランス語ⅠA	半期	●		2											
		中国語ⅠA	半期	●		2											
		韓国・朝鮮語ⅠA	半期	●		2											
		ドイツ語ⅠB	半期		●	2											
		フランス語ⅠB	半期		●	2											
		中国語ⅠB	半期		●	2											
		韓国・朝鮮語ⅠB	半期		●	2											
		ドイツ語ⅡA	半期				●		1								
		フランス語ⅡA	半期				●		1								
		中国語ⅡA	半期				●		1								
		韓国・朝鮮語ⅡA	半期				●		1								
		ドイツ語コミュニケーションA	半期				●		1								
		フランス語コミュニケーションA	半期				●		1								
		中国語コミュニケーションA	半期				●		1								
		韓国・朝鮮語コミュニケーションA	半期				●		1								
		ドイツ語ⅡB	半期					●	1								
		フランス語ⅡB	半期					●	1								
		中国語ⅡB	半期					●	1								
		韓国・朝鮮語ⅡB	半期					●	1								
		ドイツ語コミュニケーションB	半期					●	1								
		フランス語コミュニケーションB	半期					●	1								
		中国語コミュニケーションB	半期					●	1								
		韓国・朝鮮語コミュニケーションB	半期					●	1								
		ドイツ語ⅢA	半期							●		1					
		フランス語ⅢA	半期							●		1					
		中国語ⅢA	半期							●		1					
		韓国・朝鮮語ⅢA	半期							●		1					
	ドイツ語ⅢB	半期								●	1						
	フランス語ⅢB	半期								●	1						
	中国語ⅢB	半期								●	1						
	韓国・朝鮮語ⅢB	半期								●	1						
第3類	ベーシック英語	半期	●		1											「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修後に1年後期開講の「英語ⅠA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」は進級・卒業要件には含まない。	
	英語コミュニケーション	半期	○	○	2											週2回開講	
	英語ⅢA	半期							●		1						
	英語ⅢB	半期								●	1						
保健体育科目	スポーツ実技A	半期	○	○	1												
	スポーツ実技B	半期	○	○	1												
	体育講義	半期	○	○	2												
留学科目	海外研究A	通年						4								4単位まで卒業単位に算入	
	海外研究B	半期			2												
	海外研究C	半期			1												
外国人及び 帰国生科目	日本語ⅠA	半期	●		1												
	日本語ⅠB	半期		●	1												
	日本語ⅡA	半期				●		1									
	日本語ⅡB	半期					●	1									

※開講学年前期後期欄 { ●－原則としてその学期で開講。
 ○○－原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			◎印－必修科目 ○印－選択必修科目 △印－分野必修科目	
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位		
専 門 基 盤 科 目	演 習	フレッシュパーソンセミナー	●		2										◎	
		情報学演習 A							●		2				◎	
		情報学演習 B							●		2				◎	
		総合研究（卒研課題）A										●		2	◎	
		総合研究（卒研課題）B										●		2	◎	
	数 理	基礎数学	●		2											
		基礎統計学	●		2										◎	
		応用統計学		●	2											
		線形代数学入門		●	2											
		線形代数学A				●		2								
		微分積分学A		●	2											
		微分方程式				●		2								
	情 報	情報社会と情報倫理	●		2										◎	
		コンピュータ科学		●	2										◎	
		プログラミング概論		●	2										◎	
		プログラミング基礎				●		2								
		情報理論基礎				●		2							◎	
		データサイエンスA				●		2							◎	
		人工知能概論				●		2								
		データサイエンスB							●		2					
	社 会	社会調査基礎論		●	2										◎	
		社会調査法				●		2								
		情報活用とデジタルヒューマニティーズ	●		2											
		オープンデータの活用とデータの可視化				●		2							◎	
		経営学概論		●	2										◎	
		ファシリテーション論				●		2								
		プロジェクトマネジメントと組織論							●		2					
専 門 科 目	数 理	集合論	●		2											
		線形代数学B				●		2								
		微分積分学B				●		2								
		確率・統計							●		2					
		解析学A				●		2								
		解析学B							●		2					
		代数学A							●		2					
		代数学B							●		2					
		幾何学A							●		2					
		幾何学B							●		2					
		数理情報学A				●		2								
		数理情報学B							●		2					
		複素関数							●		2					
		フーリエ解析							●		2					
		数学とコンピュータ				●		2								
		感覚知覚情報論A							●		2					
		感覚知覚情報論B							●		2					
		自然情報科学				●		2								

※開講学年前期後期欄 { ●－原則としてその学期で開講。
 ○○－原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			◎印－必修科目 ○印－選択必修科目 △印－分野必修科目	
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
専 門 科 目	情 報	アルゴリズムとデータ構造				●		2								
		プログラミング応用					●	2								
		機械学習							●		2					
		ソフトウェア開発論								●	2					
		情報通信ネットワーク基礎論					●	2								
		情報通信ネットワーク運用論							●		2					
		データベースシステム								●	2					
		ウェブサイト構築法					●	2								
		デジタルメディア表現と技術A							●		2					
		デジタルメディア表現と技術B								●	2					
		デジタルメディア制作										●		2		
		情報サービスとIoT										●		2		
		モデル化とシミュレーション					●	2								
		情報と職業							●		2					
	社 会	社会統計学A				●		2								
		社会統計学B					●	2								
		社会調査実習A				●		2								
		社会調査実習B					●	2								
		多変量データ分析法								●	2					
		ゲームスタディーズ				●		2								
		社会ネットワーク基礎論					●	2								
		数理社会学								●	2					
		テキストマイニング							●		2					
		情報とビジネス					●	2								
		情報と地域連携							●		2					
		マーケティングリサーチ							●		2					
		情報と防災・福祉								●	2					
教 職 等 に 関 する 科 目	現代教職論	半期			2										◇	◇印は、教育職員免許状取得に 必修。 ※印は、取得しようとする免許 の種類と教科によって履修方 法が異なる。(詳細は大学要 覧「教職課程」を参照のこと) 教育職員免許状を得るための 履修方法は、大学要覧(教職 課程)を参照のこと。
	教育基礎論	半期	●		2										◇	
	教育の制度と経営	半期		●	2										◇	
	教育心理学	半期						2							◇	
	教育課程論	半期				●		2							◇	
	道德教育の理論と方法	半期						2							※	
	教育の方法と技術	半期						2							◇	
	ICT活用の理論と方法	半期									2				◇	
	教育相談の理論と方法	半期						2							◇	
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2							◇	
	数学科教育法(概論)	半期					●	2							※	
	数学科教育法(理論)	半期							●		2				※	
	数学科教育法(実践)	半期								●	2				※	
	数学科教育法(応用)	半期								●	2				※	
	情報科教育法(概論・理論)	半期							●						※	
	情報科教育法(実践・応用)	半期								●	2				※	
	特別支援教育論	半期									2				◇	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2				◇	
	介護体験実習	通年									2				※	
	教育実習Ⅰ	通年												3	◇	
	教育実習Ⅱ	通年												2	※	
	教職実践演習(中・高)	半期										●	2		◇	

データサイエンス学科卒業要件 (2023 年度入学生より)

・卒業に必要な最低修得単位数

区 分		単位数			
TG ベーシック	人間的基礎	10	22	34	
	知的基礎	6			
	課題探究	6			
共通教養科目	人文系	4	12		
	社会系	4			
	自然系	4			
外国語科目	第 1 類		4		
専門基盤科目	演習 必修科目		10		34
	数理 必修科目		2		
	情報 必修科目		10		
	社会 必修科目		6		
			6		
専門科目 * 1			34		
教養教育科目 外国語科目第 2 類・第 3 類（「ベーシック英語」を除く） 保健体育科目 留学科目（4 単位まで） 専門基盤科目・専門科目 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目			18		
合 計			124		

* 1 専門科目（数理）または専門科目（情報）の少なくとも一方から 6 単位以上を修得する必要がある。

〈カリキュラムマップの見方〉

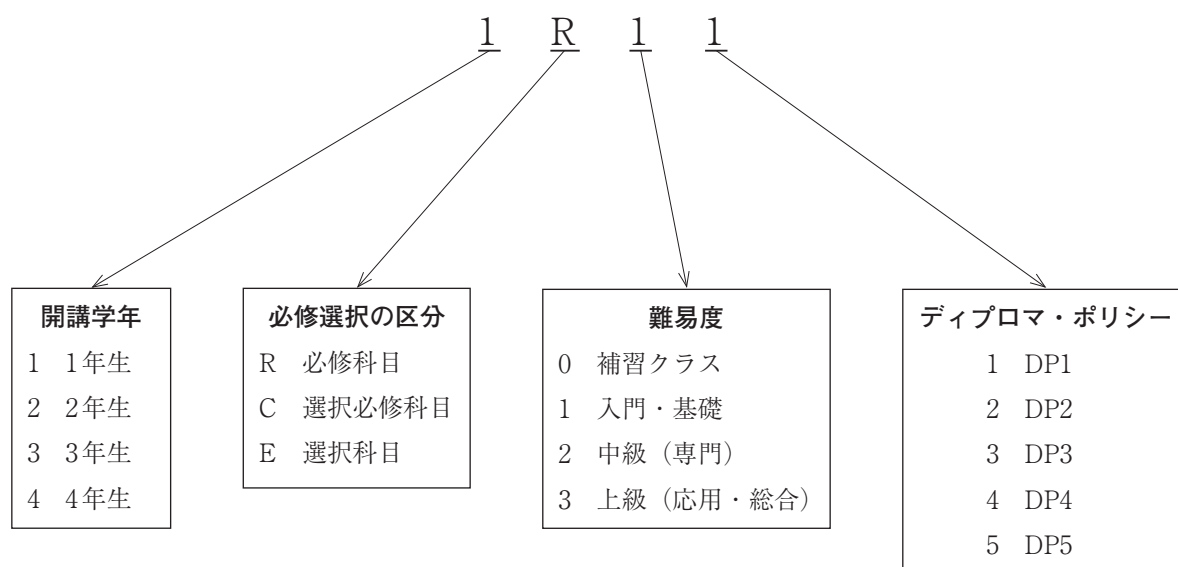
カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が、全学共通の5つの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）のうちどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。なお、DP5の細項目は、各学科の専門科目の学修によって達成を目指している方針・目標となります。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解し、履修の順序についてもしっかりと計画を立てておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。

右端の「ディプロマ・ポリシー」とは、その科目が最も達成しようとしている方針（DP）がどれかを示しています。



(1) 情報学部 データサイエンス学科 カリキュラムマップ (学位授与の方針との対応)

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる (現代をよく生きる)	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる (汎用的技能・能力)	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる (課題発見・解決)	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる (多面的認識、思考)	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる (専門分野の学修)
1R11	聖書を学ぶ	◎				
1R11	キリスト教の歴史と思想	◎				
3C21	キリスト教学 A (キリスト教と倫理)	◎				
3C21	キリスト教学 B (キリスト教と宗教)	◎				
3C21	キリスト教学 C (キリスト教と文化)	◎				
3C21	キリスト教学 D (キリスト教と現代社会)	◎				
2C11	共生社会と倫理	◎			○	
2C11	科学技術社会と倫理	◎			○	
1C11	よき社会生活のために A (法律)	◎			○	
1C11	よき社会生活のために B (福祉)	◎			○	
1C11	よき社会生活のために C (健康)	◎			○	
1C12	リーディング&ライティング		◎			
1C12	クリティカル・シンキング		◎			
1R12	情報リテラシー		◎		○	
1C12	統計的思考の基礎		◎		○	
1C12	科学的思考の基礎		◎		○	
1C13	キャリア形成の探究	○		◎		
3C13	東北学院史の探究	○		◎		
2C23	データ活用による探究		○	◎		
1C13	地域ボランティア活動の探究	○		◎		
2C23	地域課題の探究		○	◎	○	
1C23	課題探究演習		○	◎		
1E14	哲学				◎	
1E14	芸術論	○			◎	
1E14	文化の歴史				◎	
1E14	音楽	○			◎	
1E14	倫理学				◎	
1E14	文学				◎	
1E14	歴史学	○			◎	
1E14	文化人類学	○			◎	
1E14	言語論				◎	
1E14	心理学				◎	
1E14	社会学				◎	
1E14	経営学				◎	
1E14	経済学				◎	
1E14	法学				◎	
1E14	日本国憲法	○			◎	
1E14	現代の政治	○			◎	
1E14	地理学				◎	
1E14	社会福祉論				◎	
1E14	ジェンダー論				◎	
1E14	東北地域論				◎	
1E14	数理の科学				◎	
1E14	記号論理学		○		◎	
1E14	生命の科学				◎	
1E14	環境の科学				◎	
1E14	自然の科学				◎	
1E14	先端科学と技術				◎	
1E14	AI 社会の基礎		○		◎	
1R12	英語 I A		◎		○	
1R12	英語 I B		◎		○	
2R22	英語 II A		◎		○	
2R22	英語 II B		◎		○	
1C12	ドイツ語 I A		◎		○	
1C12	フランス語 I A		◎		○	
1C12	中国語 I A		◎		○	
1C12	韓国・朝鮮語 I A		◎		○	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
1C12	ドイツ語Ⅰ B		◎		○	
1C12	フランス語Ⅰ B		◎		○	
1C12	中国語Ⅰ B		◎		○	
1C12	韓国・朝鮮語Ⅰ B		◎		○	
2E22	ドイツ語Ⅱ A		◎		○	
2E22	フランス語Ⅱ A		◎		○	
2E22	中国語Ⅱ A		◎		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ A		◎		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション A		◎		○	
2E22	フランス語コミュニケーション A		◎		○	
2E22	中国語コミュニケーション A		◎		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション A		◎		○	
2E22	ドイツ語Ⅱ B		◎		○	
2E22	フランス語Ⅱ B		◎		○	
2E22	中国語Ⅱ B		◎		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ B		◎		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション B		◎		○	
2E22	フランス語コミュニケーション B		◎		○	
2E22	中国語コミュニケーション B		◎		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション B		◎		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ A		◎		○	
3E32	フランス語Ⅲ A		◎		○	
3E32	中国語Ⅲ A		◎		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ A		◎		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ B		◎		○	
3E32	フランス語Ⅲ B		◎		○	
3E32	中国語Ⅲ B		◎		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ B		◎		○	
1E02	ベーシック英語		◎		○	
1E12	英語コミュニケーション		◎		○	
3E32	英語Ⅲ A		◎		○	
3E32	英語Ⅲ B		◎		○	
1E11	スポーツ実技 A	◎				
1E11	スポーツ実技 B	◎				
1E12	体育講義		◎			
2E32	海外研究 A		◎		○	
1E22	海外研究 B		◎		○	
1E12	海外研究 C		◎		○	
1E12	日本語Ⅰ A		◎			
1E12	日本語Ⅰ B		◎			
2E12	日本語Ⅱ A		◎			
2E12	日本語Ⅱ B		◎			
1R14	フレッシュパーソンセミナー	○		○	◎	
3R23	情報学演習 A			◎		○
3R23	情報学演習 B			◎		○
4R33	総合研究（卒研課題） A			◎		○
4R33	総合研究（卒研課題） B			◎		○
1E12	基礎数学		◎		○	
1R14	基礎統計学		○		◎	
1E14	応用統計学				◎	
1E14	線形代数学入門				◎	
2E24	線形代数学 A				◎	
1E14	微分積分学 A				◎	
2E25	微分方程式					◎
1R14	情報社会と情報倫理	○			◎	
1R14	コンピュータ科学				◎	
1R14	プログラミング概論			○	◎	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる（現代をよく生きる）	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる（汎用的技能・能力）	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる（課題発見・解決）	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる（多面的認識、思考）	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる（専門分野の学修）
2E25	プログラミング基礎			○		◎
2R25	情報理論基礎				○	◎
2R25	データサイエンス A	○		○		◎
2E25	人工知能概論			○		◎
3E35	データサイエンス B			○		◎
1R14	社会調査基礎論				◎	○
2E25	社会調査法					◎
1E14	情報活用とデジタルヒューマニティーズ				◎	○
2R25	オープンデータの活用とデータの可視化			○		◎
1R14	経営学概論				◎	○
2E23	ファシリテーション論	○		◎	○	
3E33	プロジェクトマネジメントと組織論	○		◎	○	
1E15	集合論					◎
2E25	線形代数学 B					◎
2E25	微分積分学 B					◎
3E35	確率・統計					◎
2E25	解析学 A					◎
3E35	解析学 B					◎
3E35	代数学 A					◎
3E35	代数学 B					◎
3E35	幾何学 A					◎
3E35	幾何学 B					◎
2E25	数理情報学 A					◎
3E35	数理情報学 B					◎
3E35	複素関数					◎
3E35	フーリエ解析					◎
2E25	数学とコンピュータ			○		◎
3E35	感覚知覚情報論 A					◎
3E35	感覚知覚情報論 B					◎
2E25	自然情報科学					◎
2E25	アルゴリズムとデータ構造					◎
2E25	プログラミング応用			○		◎
3E35	機械学習			○		◎
3E35	ソフトウェア開発論			○		◎
2E25	情報通信ネットワーク基礎論					◎
3E35	情報通信ネットワーク運用論					◎
3E35	データベースシステム					◎
2E25	ウェブサイト構築法					◎
3E35	デジタルメディア表現と技術 A					◎
3E35	デジタルメディア表現と技術 B					◎
4E35	デジタルメディア制作			○		◎
4E35	情報サービスと IoT			○		◎
2E25	モデル化とシミュレーション					◎
3E35	情報と職業	○				◎
2E25	社会統計学 A					◎
2E25	社会統計学 B					◎
2E25	社会調査実習 A			○		◎
2E25	社会調査実習 B			○		◎
3E35	多変量データ分析法			○		◎
2E25	ゲームスタディーズ					◎
2E25	社会ネットワーク基礎論					◎
3E35	数理社会学					◎
3E35	テキストマイニング					◎
2E25	情報とビジネス			○		◎
3E35	情報と地域連携			○		◎
3E35	マーケティングリサーチ					◎
3E35	情報と防災・福祉			○		◎

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
1E14	現代教職論				◎	
1E14	教育基礎論				◎	
1E14	教育の制度と経営				◎	
2E24	教育心理学				◎	
2E24	教育課程論				◎	
2E24	道德教育の理論と方法				◎	
2E24	教育の方法と技術				◎	
2E24	ICT 活用の理論と方法				◎	
3E35	教育相談の理論と方法				◎	
2E35	生徒指導・進路指導の理論と方法				◎	
3E35	数学科教育法（概論）				○	◎
3E35	数学科教育法（理論）				○	◎
3E35	数学科教育法（実践）				○	◎
3E35	数学科教育法（応用）				○	◎
3E34	情報科教育法（概論・理論）				○	◎
3E34	情報科教育法（実践・応用）				○	◎
2E24	特別支援教育論				◎	
3E34	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法				◎	
4E33	介護体験実習				◎	
3E24	教育実習Ⅰ			◎		○
4E33	教育実習Ⅱ			◎		○
4E33	教職実践演習（中・高）			◎		

(2) 情報学部 データサイエンス学科 カリキュラムマップ (専門分野の学修成果との対応)

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果		
		1	2	3
		現代社会における情報の重要性を理解し、その役割を説明することができる。(情報の重要性理解)	データを解析するために必要な数理科学の知識や手法を獲得し、それらを説明することができる。(データ解析の手法)	情報科学、数理科学や社会科学を用いて膨大な量のデータを解析し、得られた情報を社会に活かすための方法を説明できる。(社会への価値還元)
1R14	フレッシュバーソンセミナー	◎	○	○
3R23	情報学演習 A	○	○	◎
3R23	情報学演習 B	○	○	◎
4R33	総合研究 (卒研課題) A	○	○	◎
4R33	総合研究 (卒研課題) B	○	○	◎
1E12	基礎数学		◎	
1R14	基礎統計学	○	◎	
1E14	応用統計学	○	◎	
1E14	線形代数学入門		◎	
2E24	線形代数学 A		◎	
1E14	微分積分学 A		◎	
2E25	微分方程式		◎	
1R14	情報社会と情報倫理	◎		○
1R14	コンピュータ科学	◎	○	
1R14	プログラミング概論	○	◎	
2E25	プログラミング基礎	○	◎	
2R25	情報理論基礎	○	◎	
2R25	データサイエンス A	○		◎
2E25	人工知能概論	○		◎
3E35	データサイエンス B	○		◎
1R14	社会調査基礎論		○	◎
2E25	社会調査法		○	◎
1E14	情報活用とデジタルヒューマニティーズ	○		◎
2R25	オープンデータの活用とデータの可視化	○		◎
1R14	経営学概論	○		◎
2E23	ファシリテーション論	○		◎
3E33	プロジェクトマネジメントと組織論	○		◎
1E15	集合論		◎	
2E25	線形代数学 B		◎	
2E25	微分積分学 B		◎	
3E35	確率・統計		◎	
2E25	解析学 A		◎	
3E35	解析学 B		◎	
3E35	代数学 A		◎	
3E35	代数学 B		◎	
3E35	幾何学 A		◎	
3E35	幾何学 B		◎	
2E25	数理情報学 A	○	◎	
3E35	数理情報学 B	○	◎	
3E35	複素関数		◎	
3E35	フーリエ解析		◎	
2E25	数学とコンピュータ	○		◎
3E35	感覚知覚情報論 A	○	◎	
3E35	感覚知覚情報論 B	○	◎	
2E25	自然情報科学	○	◎	
2E25	アルゴリズムとデータ構造	○	◎	
2E25	プログラミング応用	○	◎	
3E35	機械学習	○	◎	
3E35	ソフトウェア開発論	○	○	◎
2E25	情報通信ネットワーク基礎論	○	◎	
3E35	情報通信ネットワーク運用論	○	◎	
3E35	データベースシステム	○	◎	
2E25	ウェブサイト構築法	○	◎	
3E35	デジタルメディア表現と技術 A	◎	○	
3E35	デジタルメディア表現と技術 B	◎	○	
4E35	デジタルメディア制作	◎	○	
4E35	情報サービスと IoT	○		◎

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果		
		1	2	3
		現代社会における情報の重要性を理解し、その役割を説明することができる。(情報の重要性理解)	データを解析するために必要な数理科学の知識や手法を獲得し、それらを説明することができる。(データ解析の手法)	情報科学、数理科学や社会科学を用いて膨大な量のデータを解析し、得られた情報を社会に活かすための方法を説明できる。(社会への価値還元)
2E25	モデル化とシミュレーション	○	◎	
3E35	情報と職業	◎		○
2E25	社会統計学 A		○	◎
2E25	社会統計学 B		○	◎
2E25	社会調査実習 A		○	◎
2E25	社会調査実習 B		○	◎
3E35	多変量データ分析法		◎	○
2E25	ゲームスタディーズ	○		◎
2E25	社会ネットワーク基礎論	○		◎
3E35	数理社会学		○	◎
3E35	テキストマイニング	○	◎	
2E25	情報とビジネス	○		◎
3E35	情報と地域連携	○		◎
3E35	マーケティングリサーチ	○		◎
3E35	情報と防災・福祉	○		◎